



久住高原農業高生と赤川荘 化粧品開発でタッグ



協力して化粧品を開発する久住高原農業高生徒と「赤川温泉 赤川荘」の朴賢真さん（前列右端）と恵利花さん（同右から2人目）＝竹田市久住町久住

【竹田】竹田市久住町の久住高原農業高生徒が同町の温泉施設「赤川温泉 赤川荘」と共同で、市内特産のサフランと温泉水を使った化粧品開発を計画している。市内に持ち込まれて120年を超える花は生産者の減少といった課題がある。新たな商品により、持続可能性を高める。3月18日までクラウドファンディングサイト「キャンプファイヤー」で活動資金を募る。

サフランと温泉水活用

発案したのは同校でサフラン栽培を研究する1〜3年8人。生産の効率化や省力化、高収益化を目指し、実験に励んできた。

サフランは料理や飲料、薬品などに使われるのが一般的。温泉好きの生徒がいたことをきっかけに温泉水を活用した化粧品開発のアイデアが浮上。昨春秋頃、赤川荘に連携を打診した。

同温泉は硫黄などの成分を含有。皮膚トラブルに対する効能がある。赤川荘は化粧品やせっけん、入浴剤を販売。テレビ番組で紹介され、人気という。経営する朴賢真さん(47)恵利花さん(46)夫婦は長男が同校卒業生だったこともあり、生徒の申し出を快諾した。今回の計画では、温泉水

と生徒たちが育てたサフランを活用した化粧水と美容液を開発。サフランのクロシンやクロセチンといった有用成分が肌に張り艶を与え、長年の栽培の歴史が特別感、安心感を醸成するという。今年中の販売を目指す。

集まった寄付は開発費や原材料費などとして活用。リターンは▽開発した化粧品▽観賞用サフランの球根▽中高生向けに探究活動の助言▽生徒が活動時に着るTシャツに企業名を掲載するなどさまざま。

朴さん夫婦は「竹田市を活性化したいという気持ちがあるが素晴らしい。私たちの考えと一致する」と期待。2年生の工藤未来さん(17)は「協力が得られて心強く、うれしい。サフランの価値を美容の視点から高めた」と力を込めた。

(指原祐輔)



〔問①〕 サフランは一般的にはどういった使い方をしますか。

〔問②〕 サフランの有用成分が肌に張りを与えるとされます。その成分は？

〔問③〕 あなたが考える、サフランの使い道は？